真夏の森の生き物たち

～　秋に向けての　生き物たちの営み　～　　8 月 11 日　里研自然観察会

春にすばらしい花をつけていた草木の様子もずいぶんと姿を変え、それぞれの生き物が、秋に向けての準備をしています。また、初夏の頃、卵からかえった昆虫や地面から這い出してきた仲間たちも、自分たちの種の保存のために、この真夏を一生懸命に生きようとてしています。それぞれの生き物たちの様子に迫ってみましょう。

☆ どのように変化しましたか　？　比べてみましょう。

（コブシ　春　）

夏になると拳（コブシ）の形が ？

(ハナズオウ　春　)

夏になると別の装いに ？

(ツバキ　　春　)

実の近くには白い色の昆虫も ？

☆完全変態と不完全変態

昆虫のほとんどは卵から産まれ幼虫として成長していきますが、産まれたときから親と同じような姿をしているものと、モンシロチョウの幼虫のように幼虫から蛹になり蛹から羽化して親の姿になる種類がいます。完全変態と不完全変態について考えてみましょう。

Q 完全変態をする昆虫に〇をつけてみてください。

1)トンボ　2)セミ　3)カブトムシ　4)ホタル　5)バッタ　6)テントウムシ